

# 平尾 貴四男

KISHIO (1907-1953) HIRAO

## 歿70年記念演奏会

2 0 2 3

**10.18 水**

18:00 (17:30 開場)

東京オペラシティ  
リサイタルホール

全席自由 4000円

チケットのお問い合わせ・お問合せは

プロアルテ ムジケ

03(3943)6677 

[www.proarte.jp](http://www.proarte.jp)

**PRO ARTEKET**

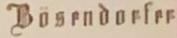
プロアルテケット



主催 平尾貴四男記念生涯教育センター

企画・構成 平尾はるな

マネジメント 株式会社 プロアルテ ムジケ

協力: ベーゼンドルファー・ジャパン 

オール平尾貴四男プログラム

砧 Op. 1-1 (楽譜浄書: 当麻泰久)

仕入順子 (ピアノ) / 戸張勢津子 (ピアノ)

ヴァイオリンソナタ

滝 千春 (ヴァイオリン) / 斎藤 龍 (ピアノ)

ピアノ・ソナタ

渋谷淑子 (ピアノ)

木管五重奏曲

アンサンブル ロジエ

奇想組曲

島根 恵 / 新島七樹 (ヴァイオリン)

門倉 茜 (ヴィオラ) / 島根朋史 (チェロ)

佐々木美緒 (フルート) / 河村真歩 (オーボエ)

原田 優 (クラリネット) / 高尾郁江 (ピアノ)

1951年(昭和26年)作曲につかれたあい間に - 舟橋正道曲

平尾貴四男は1907年に東京・日本橋で生まれ、慶應義塾大学予科の医学部在学中より弘田竜太郎や大沼哲らに音楽理論を学んだ。大学の独文科を卒業後、パリのスカラ・カントルムに入学して和声学と対位法を勉強、また課外にフルートを修め、のちにセザール・フランク音楽学校に移って1936年に作曲科を卒業した。

帰国後に室内楽曲や管弦楽曲などの規模の大きい作品を続々と発表し、『古代讃歌』(1935)と『隅田川』はそれぞれ1937年と1938年の新響邦人作品コンクールにあいついで入選する。また『管弦四重奏曲』(1940)は日本現代作曲家連盟の第1回室内楽賞を受けるなど、はなばなしで活躍ぶりで注目を浴びる。

1948年に安部幸明・高田三郎・貴島清彦らとグループ〈地人会〉を結成。いっそう旺盛な創作力を發揮し、1949年には日本現代音楽協会第三代委員長に任せられた。

創作当初は日本のスタイルから出発し、肌理のこまかい抒情的な作

風を見せたが、第2次世界大戦の終結をはさみ40歳をすぎるころから内面の精神的な葛藤を発想とする響きの層の厚い作品を書いた。また、スカラ的なきびしさや堅実さ、洗練された音楽的教養を身につけた理論家でもあり、テオドール・デュボワ著『和声学』、オリヴィエ・メンアン著『わが音楽語法』の名訳が実績として残されている。いよいよ円熟の域にさしかかろうとする1953年、病魔に襲われ惜しまれつつ46歳で他界した。

今回の歴70年を記念した回顧展では、20世紀日本を代表する作曲家のひとり平尾貴四男のさまざまな作品を未来へつなごうと、若い世代の演奏家たちを中心に平尾の内面世界に迫ります。

## 平尾貴四男 歴70年記念演奏会

仕入順子(ブリモ)／戸張勢津子(セコンド)

【ピアノ連弾】

しいれ・じゅんこ、とばり・せつこともに桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を卒業。

2005年よりデュオ活動を始める。フランスのデュオ作品を中心に入弾や2台ピアノのための作品を探り上げたコンサートシリーズは今年で16回目を迎える。好評を得ている。そのほかにも「ロマンティックコンサート(江東区)」「日本未来科学館ウィークエンドカフェコンサート」「ペヒュシャインの調べ」などさまざまなコンサートに出演。当摩泰久作品集CDにおいて当摩氏編曲の日本の歌曲を収録。

滝千春(ヴァイオリン)

メニュイン国際コンクール1位など数々の国際コンクール入賞。国内外リサイタルをはじめ、ソリストとしてユベール・スダーン、ゲルト・アルブレヒト、小澤征爾など数多くの指揮者と共に演じる。ビクターレコード投信投資顧問株式会社のバトロネージュ・アーティストを3年間勤め上げる。2019年ミュンヘン放送管弦楽団のコンサートミストレスに短期就任。ソリスト、コンサートミストレス、室内楽奏者として、日本を始めとし、これまでにドイツ、オランダ、スイス、フランス、ハンガリーなどで活躍。

齊藤龍(ピアノ)

東京藝術大学、同大学大学院修士課程、チューリッヒ芸術大学大学院コンサートディプロム及び同ソリストディプロム課程修了。ブラームス国際コンクール第3位及び審査員特別賞はじめ受賞多数。ベートーベン、ピアソナタ全曲、ヴァイオリンソナタ全曲演奏会などソロ、アンサンブルで多くのコンサートに出演。東京藝術大学・附属音楽高等学校、沖縄県立芸術大学講師を歴任、現在洗足学園音楽大学講師として後進の指導にあたっている。

渋谷淑子(ピアノ)

国立音楽大学及び同大学院を首席で修了。武岡鶴代賞、クロイツァー賞を受賞。1984年、第5回クロード・カーン国際ピアノコンクール(パリ)ディプロマ賞受賞。86年、フランス音楽コンクール第1位。87年、第2回日本現代音楽ピアノコンクール優勝。全曲を現代ピアノ音楽作品で構成したリサイタル「時空、響・流転」《波動シリーズ》の演奏が高い評価を受け、文化庁より平成10年度及び平成14年度「芸術祭優秀賞」を受賞。ソロ、室内楽、伴奏と幅広い分野で活躍し、内外の作曲家の初演も数多く手がけ、CD録音も多数にのぼる。これまでに長峰和子、藤井一興、平尾はるなの各氏に師事。

現在、国立音楽大学及び大学院特任教授。漱樹会主宰。

アンサンブル ロジエ(木管五重奏)

前身である「木管五重奏ロジエ」を洗足学園音楽大学在学時に同級生5人で結成し、2018年1月から約3年間活動。同大学で行われた数々のオーディションを通して、最も優秀な団体が選出される「セレクションチーム」に抜擢される。松本健司氏、辻功氏に師事。浜の風コンクール2020最優秀賞グランプリ受賞。

「赤い薔薇のように華やかに、愛情と情熱を持って、生の音楽の良さを多くの人に届けたい」という理念のもと、2021年8月に新メンバーを加え「アンサンブルロジエ」として再スタートを切る。教育機関での演奏活動や企業からの依頼演奏をはじめ、ラ・フォル・ジュルネTOKYOに出演するなど、コンサートを通じて生の音楽の良さを伝えている。

佐々木美緒(フルート)

河村真歩(オーボエ)

並木碧(ファゴット)

原田優(クラリネット)

宮崎里咲(ホルン)



仕入順子(ピアノ) 戸張勢津子(ピアノ) 滝千春(ヴァイオリン) 齊藤龍(ピアノ) 渋谷淑子(ピアノ) 佐々木美緒(フルート) 河村真歩(オーボエ) 原田優(クラリネット) 宮崎里咲(ホルン) 並木碧(ファゴット) 島根恵(ヴァイオリン) 新島七樹(ヴァイオリン) 門倉茜(ヴィオラ) 島根朋史(チェロ) 高尾郁江(ピアノ)

島根恵(ヴァイオリン)

東京藝術大学卒。1981年第8回ヴィエニアフスキ国際ヴァイオリンコンクール入賞。1987年第2回日本モーツアルト音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝。これまでにヴァイオリンを海野義雄、江藤俊哉、久保陽子、兎束龍夫、広瀬八朗、母島根育の諸氏に、J.S.バッハについて、オランダのチェリスト、アンナー・ビルスマ氏に師事。音源の少ない習学者向けの楽曲をCDにすることや、音楽之友社出版の学習者向けの楽譜の校訂・解説を手掛けている。公益社団法人日本演奏連盟会員。一般社団法人日本弦楽指導者協会関東支部理事。

新島七樹(ヴァイオリン)

令和5年昭和音楽大学演奏家IIコース卒業。全日本ジュニアクラシック音楽コンクール、彩の国String Competition入賞。ヴァイオリンを奥田雅代、和田和子、花田和加子、伊藤亮太郎、鷺見理恵子、ジェラール・ブーレの各氏に師事。ヴァイオラ・室内樂を松実健太、島根朋史、菅野博文、小森谷巧の各氏に師事。

門倉茜(ヴィオラ)

3歳よりヴァイオリンを始める。これまでに、ヴァイオリンを大谷康子、海野義雄、横山俊朗各氏に、室内樂を横山俊朗、百武山紀彌氏に師事。東京音楽大学在学中、オーディション合格者によるソロ、室内樂定期演奏会に出演。バイエルン州立青年オーケストラに参加。2015年第16回大阪国際音楽コンクールAge-U入選。2017年よりピアニスト兵藤彩子氏と共にデュオリサイタルを定期的に開催。ライブサポート、ミュージックビデオで、鈴華ゆう子、春奈るな、錦戸亮、Official髭男dism、Blu-BiLLioNと共に。ソロだけでなく室内樂、オーケストラなど幅広い分野で演奏活動を行う。

島根朋史(チェロ)

博士(音楽・チェロ)。現代・ヒストリカルのチェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバを操る三刀流奏者。東京藝術大学にて博士号取得。同声会賞、大学院アカンサス音楽賞受賞。パリ・サティ音楽院修了。CD「レ・モノローグ」は5誌の推薦盤に選出された。La Musica Collana首席、サブディレクター。同団で

NHKに出演。バッハ、コレギウム・ジャパン、木心トリオ等メンバー。日本弦楽指導者協会会員。印西国際音楽コンクール審査員。昭和音楽大学非常勤講師。

高尾郁江(ピアノ)

国立音楽大学附属高等学校を経て同大学及び大学院音楽研究科器楽専攻(ピアノ)を首席で修了。岡田賞、武岡賞、NTTドコモ賞、クロイツァー賞を受賞。同大学院研究奨学生を授与される。読売新人演奏会、皇居桃華楽堂コンサート等に出演。ウィーン国立音楽・演劇大学(オーストリア)へ留学し、ポストグラデュアルを修了。第18回宝塚ベガ音楽コンクール第2位。リサイタル開催やオーケストラとのピアノ協奏曲共演のほか、室内樂及び合唱團のピアニストとして演奏を行っている。これまでに阿部佳代子、平尾はるな、小林光裕、篠井章子、ステファン・メラーの各氏に師事。現在、国立音楽大学非常勤講師。